

OZUNET

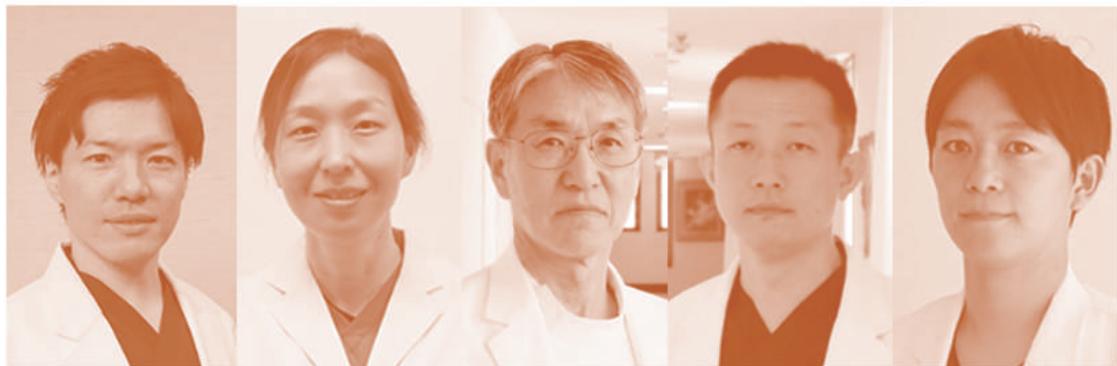
おづねっと

傷は最小に。自由は最大に。

開腹を避ける、
飽くなき執念。

美しさを守る、
一線のこだわり。

低侵襲という、
未来への約束。



Women's Healthcare

すべての女性に、確かな医学と安心を。

泉大津急性期メディカルセンター
女性ロボット・腹腔鏡手術部門

2026年3月号

泉大津急性期メディカルセンター 婦人科 女性ロボット・腹腔鏡低侵襲手術部門の山崎 亮です。

今回は泉大津急性期メディカルセンターが始動し1年が経過しましたので、婦人科での取り組み、主に「良性疾患の開腹ゼロ」を掲げ巨大筋腫や骨盤臓器脱も最小限の傷跡で完遂する、高度低侵襲手術についてご案内いたします。

資格 / 日本産科婦人科学会専門医・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡・ロボット技術認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医（産科婦人科）
ロボット（da Vinci）手術認定医
日本ロボット外科学会国内B級ライセンス
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



婦人科
女性ロボット・腹腔鏡低侵襲手術部門
医長 山崎 亮
やまさき りょう

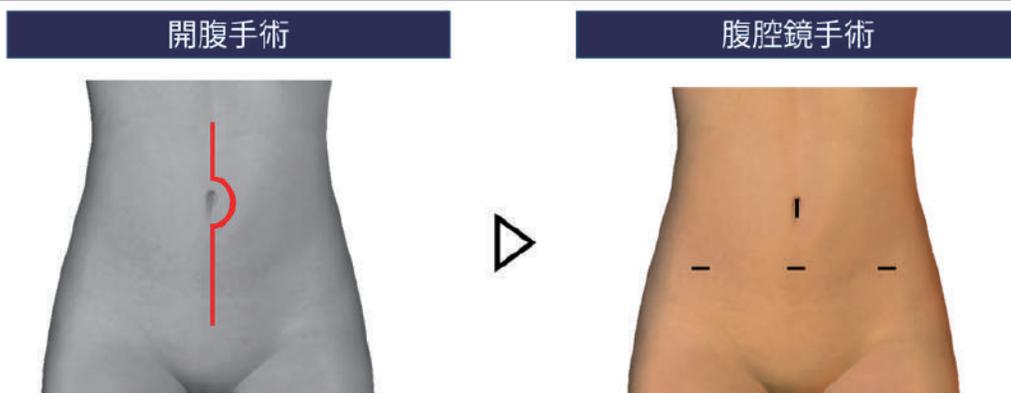
良性疾患の開腹ゼロを掲げる婦人科 ～巨大筋腫にも低侵襲で挑む～

「開腹手術0件」の数字に込めた、
当院の低侵襲手術へのこだわり

なぜ、当院ではお腹を切らないのか。それは、患者さんの将来の「美しさ」と「健やかな日常」を第一に考えているからです。移転以来、良性疾患における開腹手術は「ゼロ」です。

安全性に配慮しながら、女性の体に優しい低侵襲手術で傷跡への不安に寄り添います。

腹腔鏡手術による傷口の削減

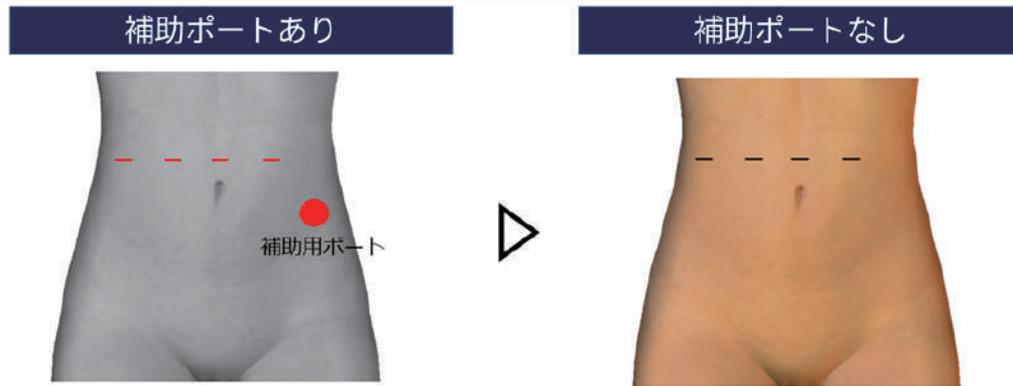


良性疾患での開腹手術は “0件”

● ロボット手術の常識を変える、最小限の傷跡

2024年度実績 144件。当科は、子宮全摘術から悪性腫瘍手術まで、高度なロボット技術で対応いたします。特に追求しているのは、傷口を増やさない「補助ポートの廃止」です。できる限り腹腔鏡手術と同等の傷数に抑え、最高水準の低侵襲治療を提供いたします。

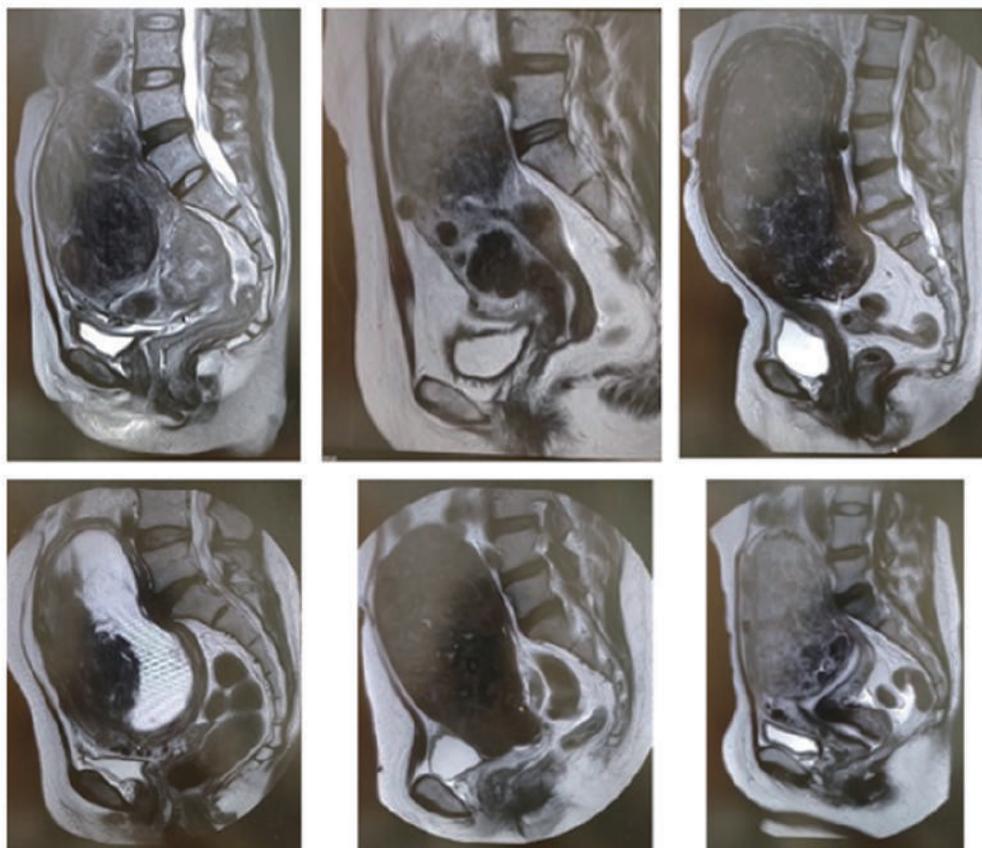
補助ポート廃止による傷の削減



ロボット支援下手術での補助ポートを極力廃止

「開腹手術はしたくない」
—— その願い、諦めなくていいんです

これまでに治療した巨大子宮腫瘍のMRI画像



● 子宮サイズによる制限は設けていません。巨大筋腫も、低侵襲で完遂

「お腹の張りは限界、でも傷跡は残したくない」と悩む患者さんはいらっしゃいませんか？ 当院では、他院で開腹と判断されるような臍上大の症例も、積極的にロボット支援下・腹腔鏡下手術で施行しています。先生の診断を、患者さんの理想とする「傷の少ない治療」へと繋げるパートナーとして、当院をご活用ください。

「仕方ない」で終わらせない。 QOL を劇的に変える低侵襲手術

● 「リングの違和感」から解放される、次世代の骨盤底再建

加齢や分娩を背景とした臓器脱は、女性の活動性を著しく低下させます。当科が提供するRSC/LSC（ロボット支援下 / 腹腔鏡下仙骨腔固定術）は、メッシュによる強固な吊り上げで再発リスクを10%以下に低減いたします。高度な技術を要する低侵襲手術により、先生の大切な患者さんに「違和感のない日常」を取り戻します。紹介先として、当院の高度医療をぜひご活用ください。

疾患別・ご紹介のポイント

● < 巨大子宮筋腫 >

開腹手術を望まぬ患者、HRT 導入を検討する患者の選択肢として

巨大子宮筋腫においては、閉経により月経随伴症状が消失した後も、依然として臓器圧迫症状は残存いたします。また、下腹部痛などの諸症状が発現した際、骨盤内を占拠する巨大腫瘍が存在すると、他疾患の除外診断を困難にする一因ともなり得ます。

「開腹手術を避け、低侵襲手術（腹腔鏡・ロボット）が可能であれば治療を希望する」という患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ当科へご紹介ください。腹部を占拠していた腫瘍が最小限の侵襲で摘出されることで、多くの患者さんが術後、心身ともに晴れやかな姿を見せてくださいます。

また、更年期障害に対するホルモン補充療法（HRT）を検討される際、巨大子宮筋腫の存在が治療導入の障壁となるケースも少なくありません。そのような場合も、低侵襲手術という選択肢をご提示することで、先生方と共に女性のヘルスケアの幅を広げる一助になればと考えています。



< 骨盤臓器脱 >

軽微な症状でも保存療法に固執せず、当科へ手術介入のご相談を

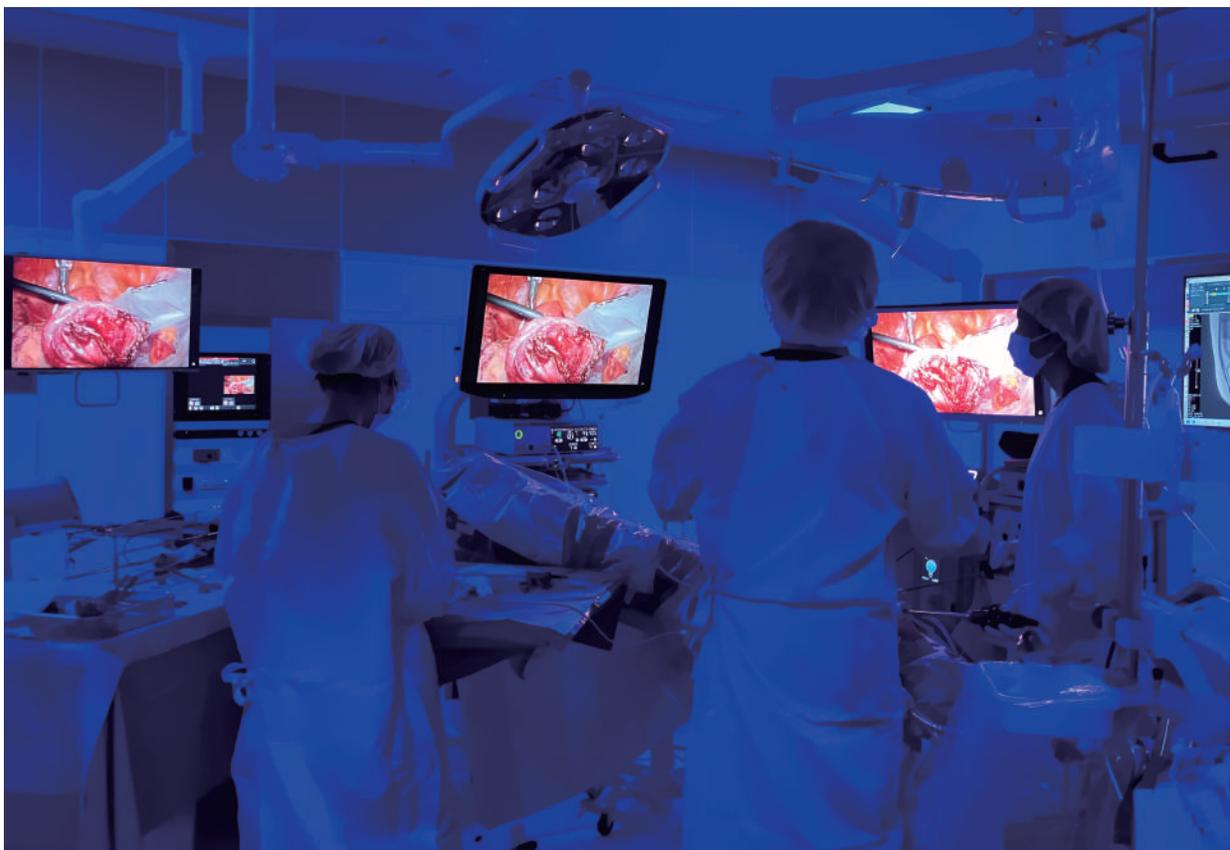
骨盤臓器脱治療の本則は手術療法にあります。リングペッサリーを用いた保存的治療により症状が緩和される症例もありますが、長期的な QOL の維持を鑑みれば、外科的介入がより適切な場合も少なくありません。最適な手術適応の時期を逸することのないよう、軽微な症状であっても、ぜひ一度当科へご紹介ください。

RSC (ロボット支援下仙骨脛固定術) や LSC (腹腔鏡下仙骨脛固定術) を施行した患者さんが、

「手術を受けて本当に良かった」

「これで安心して旅行や温泉を楽しむことができる」

と喜ばれる姿に、日々臨床の意義を実感しています。



手術室の様子

地域連携を基盤に、 患者満足度の高い急性期医療を目指して

地域の先生方との緊密な連携のもと、これからもより質の高い医療を追求してまいります。「泉大津急性期メディカルセンターを紹介してもらえて本当によかった」と、患者さんに心からご満足いただけるよう、日々研鑽を積んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

外来診療担当医表

● 予約制

	月	火	水	木	金	土
午前	山崎 則行	木下 弾	山崎 亮	小作 大賢	山崎 則行	—
	細井 文子	—	小作 大賢	細井 文子	—	—
午後	山崎 則行	—	山崎 亮	小作 大賢	山崎 則行	—
	—	—	木下 弾	—	—	—

2026年3月1日現在

- 黒字→男性医師 赤字→女性医師
- 診察受付・・・8:15～11:45(診察は9:00から)
- 予約時間はあくまでも目安です。診療の状況により、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。
- なお上記診療体制は変更する場合がございますので、事前にご確認くださいませようお願いいたします。

新規開設しました！

骨盤臓器脱外来

すべての女性に、
最適で可能な限り低侵襲な治療を

当院では、ロボット支援下手術・腹腔鏡手術を多数実施し、
低侵襲かつ再発リスクの少ない治療を提供しています。

— ご紹介の対象となる患者さん —

- 子宮脱・膀胱脱・直腸瘤など、骨盤臓器脱が疑われる方
- 保存的治療で改善が乏しい、または再発を繰り返す方
- 手術療法をご希望の方、再発例・複雑例の治療を要する方

午前中のみのご予約となります。



地域医療連携室からお知らせ

臨床懇話会開催報告と御礼 ———— 地域医療連携室 室長補佐 田中 雅樹

2026年1月31日（土）にホテルレイクアルスターアルザ泉大津で開催いたしました「第1回泉大津急性期メディカルセンター臨床懇話会」においては、ご多忙の中にもかかわらず多数の先生方をはじめ地域の医療従事者の方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。



当日は院外・院内あわせて155名の方にご出席を賜り、会場は終始活発な意見交換に包まれ、実りあるひとときとなりました。院内医師による講演では、日常診療に直結する最新の知見や当院の取り組みをご紹介し、地域医療連携のさらなる可能性を共有できたものと感じております。今後も顔の見える関係づくりを大切にし、地域の先生方のお役に立てる病院であり続けられるよう努めてまいります。

**泉大津急性期メディカルセンター
臨床懇話会**

日時：2026年1月31日(土) 15:00～
場所：ホテルレイクアルスターアルザ泉大津 4階 ロイヤルホール
泉大津市旭町18-5 TEL.0725-20-1121

○本会は、大阪府医師会生涯研修の指定を申請中です。
○大阪府医師会員の先生方は生涯研修チケットをご持参ください。

開会 15:00～
開会挨拶 泉大津急性期メディカルセンター 院長 竹内 一浩

第一部 15:10～

座長 泉大津急性期メディカルセンター 副院長 山本 啓雅
「心房細動治療の最前線～最新アブレーションと地域連携でQOLの向上を実現～」
循環器内科 副部長 吉山 智貴

「肝胆膵疾患の早期診断と治療で予後改善を目指す」
肝胆膵外科 部長 大平 豪

「安全で確実な脳神経外科手術をめざして～当院の取り組みと成果～」
脳外科・脳卒中センター 副部長 大畑 裕紀

第二部 16:00～

座長 泉大津市医師会 会長 武本 優次先生
「当院でできる高精度放射線治療について」
放射線治療センター 医長 松浦 知弘

座長 泉大津急性期メディカルセンター 院長代理 田口 晴之
「生長会心臓血管外科センター開設：泉州・東北地区への広範囲対応にむけて」
生長会 心臓血管外科センター 統括センター長 柴田 利彦

閉会 17:20～
閉会挨拶 泉大津急性期メディカルセンター 副院長 家口 尚

情報交換会 17:40～
挨拶・乾杯 泉大津急性期メディカルセンター 副院長 田中 浩明
閉会挨拶 泉大津急性期メディカルセンター 副院長 花谷 彰久

申し込みフォーム

お問合せ先 泉大津急性期メディカルセンター 地域医療連携室 TEL.0725-58-8235 泉大津市我孫子97-1



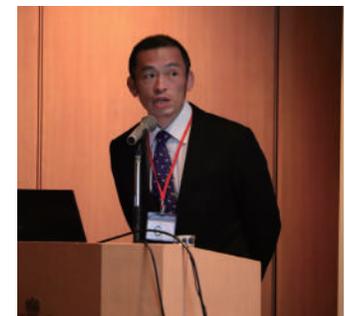
循環器内科
副部長 吉山 智貴



肝胆膵外科
部長 大平 豪



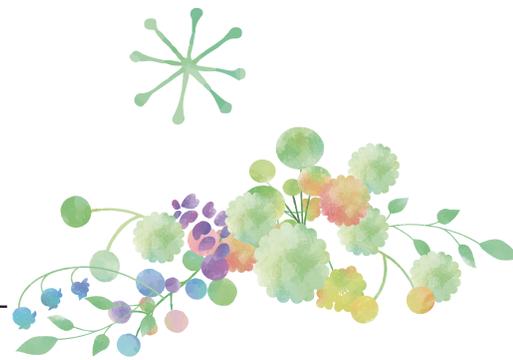
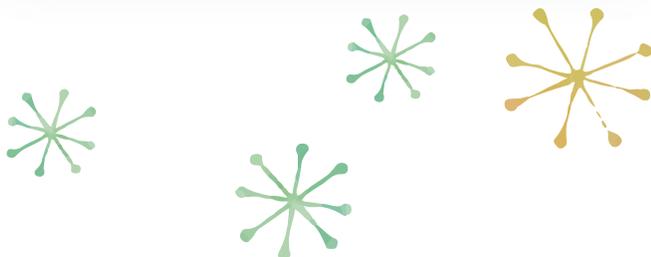
脳外科・脳卒中センター
副部長 大畑 裕紀



放射線治療センター
医長 松浦 知弘



生長会 心臓血管外科センター
統括センター長 柴田 利彦



ご予約方法（患者さんの紹介方法）

- 1 診察・検査申込用紙【FAX用】にご記入ください。
（各種検査申込用紙はホームページからダウンロードしてご使用ください）
- 2 申込書を地域医療連携室へFAXしてください。
- 3 予約状況を確認し、予約をお取りいたします。
- 4 予約票をFAXで返送いたします。
- 5 予約票を患者さんへお渡しください。
当日予約票・診療情報提供書をご持参ください。

※お急ぎの場合はお電話でも対応させていただきます。

※予約状況により、ご希望に添えないことがございます。ご了承ください。

予約受付時間

月～金曜日 9:00～20:00まで

土曜日 9:00～17:00まで ※日曜・祝日を除く

Tel. 0725-58-8235 Fax. 0725-58-8238

泉大津急性期メディカルセンター 地域医療連携室

無料送迎バス

下記の送迎バスを運行しています（日曜・祝日は運行していません）。

- …「高石駅高架下→鶴山台バス停→鶴山台停留所」行
- …「泉大津駅→松ノ浜駅→泉大津森郵便局前」行
- …「和泉青葉台→和泉中央駅」行
- …「ベルランド総合病院（府中病院・ベルアンサンプル経由）」行
- …シャトルバス「当院→府中病院→JR和泉府中駅」行

※泉大津市運営の「ふれあいバス」北・中・南回り全コース停留します。

時刻表など
詳細はこちら



Address. 〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97-1

Mail. chiikirenkei@imc.seichokai.or.jp

病院WEBサイト



YouTube



Instagram



LINE



患者さんの紹介に関するご不明な点は、地域医療連携室までご連絡ください。

おづねっと Vol.13

発行日：2026年3月10日 発行責任者：院長 竹内 一浩 編集責任者：地域連携部長 家口 尚 編集者：地域医療連携室